

令和8年8月27日14時00分
近畿地方整備局

サーキュラーエコノミーポートを初めて選定します！ ～港湾を核とした物流システムの構築による広域的な資源循環の促進～

国土交通省港湾局では、循環経済（サーキュラーエコノミー）の実現に向け、循環資源に関する物流ネットワークの拠点の形成や高度なリサイクル技術を有する産業の集積に取り組む港湾を「循環経済拠点港湾（サーキュラーエコノミーポート）」として29港を選定※します。

※近畿地方整備局管内においては、舞鶴港、姫路港を選定。

1. サークュラーエコノミーポート

サーキュラーエコノミーとは、資源や製品の価値を維持、回復又は付加することで、循環的に利用する経済システムであり、製品等の長寿命化、再利用、リサイクル等の取組を循環資源の需給両面から促進し、天然資源利用や廃棄物排出を減少させる経済システムです。

サーキュラーエコノミーポートは、循環資源の流動・種類の増大、小口の循環資源の輸送ニーズへの対応、周辺環境や他の貨物への影響を防止するための対策など、サーキュラーエコノミーを巡る様々な社会的要請に取り組む港湾であり、港湾管理者、リサイクル関連企業、物流事業者、関係省庁など、多様な主体と共に連携しながら、サーキュラーエコノミーの実現を目指すものです。

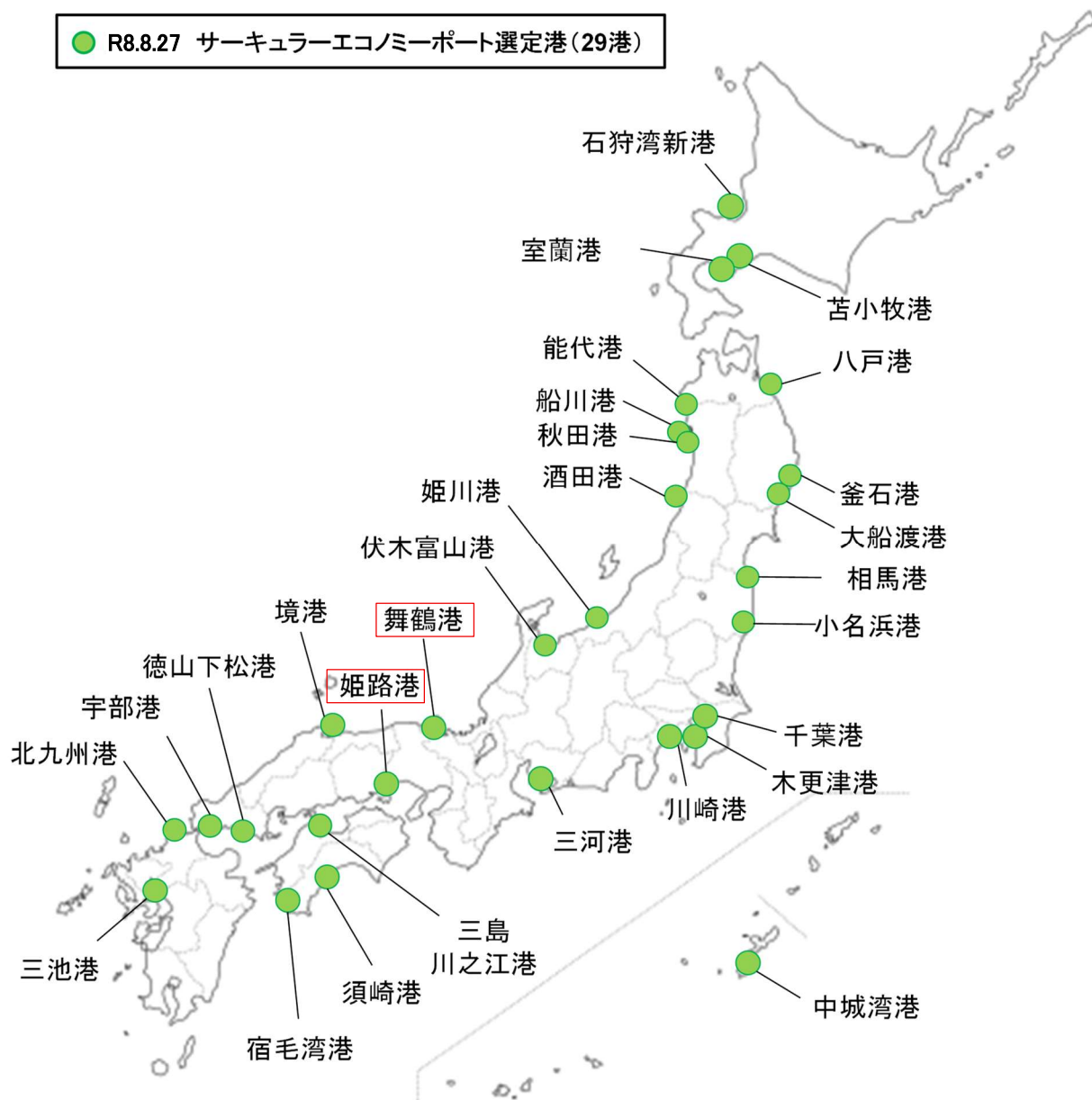
2. 選定結果の概要

今般、提出があった選定申請書について審査を行った結果、いずれの港湾についても、サーキュラーエコノミーに係る港湾貨物の取扱、高度な分別収集・再資源化施設の立地、小口・多種多様な循環資源の輸送、貨物取扱環境の整備、港湾間の連携等による輸送効率化やサーキュラーエコノミーへの貢献についての実績や計画が認められ、選定要件を満たしていることを確認しました。そのため、申請のあった全29港※を、サーキュラーエコノミーポートに選定します。※近畿地方整備局管内においては、舞鶴港、姫路港を選定。

港湾名	港湾管理者	港湾名	港湾管理者	港湾名	港湾管理者
室蘭港	室蘭市	小名浜港	福島県	境港	境港管理組合
苫小牧港	苫小牧港管理組合	相馬港	福島県	徳山下松港	山口県
石狩湾新港	石狩湾新港管理組合	千葉港	千葉県	宇部港	山口県
八戸港	青森県	木更津港	千葉県	三島川之江港	愛媛県
釜石港	岩手県	川崎港	川崎市	須崎港	高知県
大船渡港	岩手県	姫川港	新潟県	宿毛湾港	高知県
秋田港	秋田県	伏木富山港	富山県	北九州港	北九州市
船川港	秋田県	三河港	愛知県	三池港	福岡県
能代港	秋田県	舞鶴港	京都府	中城湾港	沖縄県
酒田港	山形県	姫路港	兵庫県		

3. 選定港概要

サーキュラーエコノミーポートの選定は初の取組であり、その位置図は以下のとおりです。また、舞鶴港、姫路港の概要は別紙-1 のとおりです。



(参考)

国土交通省港湾局では、循環資源を効率的に取り扱うために、港湾管理者等による港湾での循環資源の蔵置、保管等を行う循環資源取扱支援施設の整備に対する支援を行っております。

また、環境省環境再生・資源循環局では、「再生材供給サプライチェーン構築支援事業」において、港湾管理者等による港湾での循環資源の荷役設備等の整備を支援する予定であり、特にサーキュラーエコノミーポート選定港での整備については、支援対象の審査にあたり加点措置が講じられる予定です。（※詳細は今後の環境省の報道発表をご確認ください。）

<選定書手交式の開催について>

近畿地方整備局 港湾空港部にて後日、選定書の交付を行います。
詳細については改めてお知らせします。

<取扱い> —

<配布場所> 神戸海運記者クラブ、神戸民放記者クラブ、みなと記者クラブ、神戸経済記者クラブ
港湾新聞社、マリタイムデーリーニュース社、海事プレス、港湾空港タイムス

<問合せ先>

国土交通省 近畿地方整備局 港湾空港部 港湾計画課
担当：課長 山田 和夫(やまだ かずお)
課長補佐 藤井 秀和(ふじい ひでかず)

Tel : 078-391-8361 (直通)

1. 申請港概要

- 港湾管理者 京都府
- 担当部署 京都府港湾局
港湾企画課計画係
- 地元自治体 舞鶴市
- 舞鶴港は日本海側の若狭湾西側に位置し、古くから天然の良港として栄え、戦前は東港地区を中心に軍港として、戦後は京都府北部の産業（紡績業、製材業）の拠点として発展してきた。
舞鶴港は主に外貿貨物を取り扱う西港、内航フェリーと専用バースを有する東港の大きく2つに分類され、平成18年にリサイクルポート指定を受け、循環資源の取扱いリサイクル関連企業の誘致を行っている。



国土地理院地図より

2. 申請港のサーキュラーエコノミーへの取組や貢献

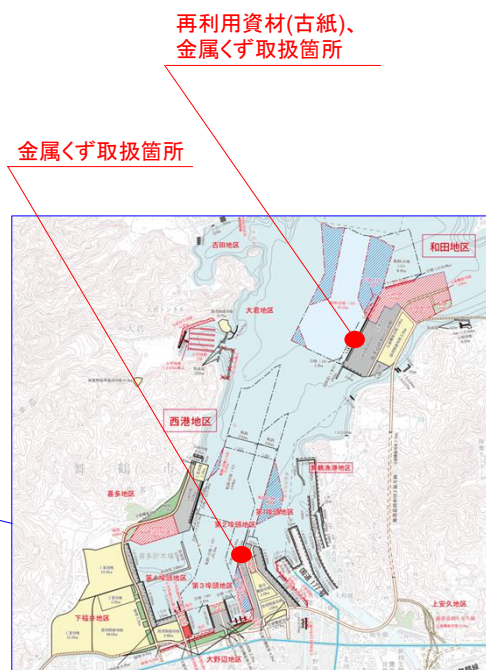
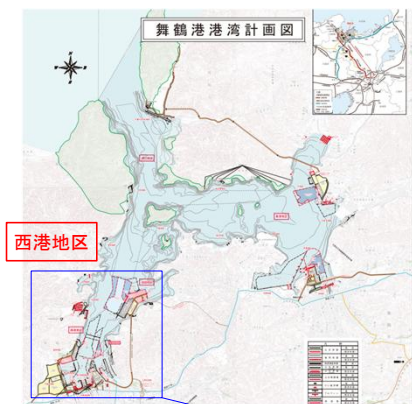
○：実績
☆：計画

- 令和6年の循環資源取扱貨物量（再利用資材（古紙））は約1万トンに達しており、リサイクルポートに指定された平成18年と比較して約5倍に増加するとともに、金属くずの取扱いも行われているなど、同港はリサイクルポートとしての役割を着実に拡大してきました。

☆ 舞鶴港は、これまで対岸貿易における地理的優位性を背景に、既存の国際フィーダー航路及び韓国航路を活用した静脈物流拠点として、また近畿経済圏の門戸港としての役割を担っています。今後は、循環資源の積替え・保管機能の高度化など合理的な荷役作業に備え、地域における循環型社会の形成とサーキュラーエコノミーへの移行に協力を図って参ります。

3. その他

■ 位置図（港湾計画図）



舞鶴港西港地区（第2ふ頭）における金属くず取扱箇所

1. 申請港概要

- 港湾管理者 兵庫県
- 担当部署 兵庫県土木部
港湾課港湾計画班
- 地元自治体 姫路市
- 姫路港は、瀬戸内海の東部、播磨灘のほぼ中央に位置し姫路市、たつの市の地先水面、東西約18kmを港湾区域とする国際拠点港湾です。背後には金属、化学工業の企業が集積しており、播磨工業地帯の中心を支える港として、地域の物流拠点、エネルギー基地として、地域経済社会の発展に貢献している。

平成15年4月にリサイクルポートの指定を受け、神戸港と姫路港で「リサイクルポート連絡調整会議」を発足させ海上輸送の静脈物流ネットワーク形成に向けた情報交換と連携を強化してきた。



2. 申請港のサーキュラーエコノミーへの取組や貢献

○：実績
☆：計画

- ☆ 姫路港広畑地区の循環資源取扱貨物量（金属くず）は、近年25万トンを超える取扱量の水準を維持し、令和7年の取扱量は令和元年の取扱量と比較して約4.0倍に増加しています。今後、近隣の製鉄所では電炉1基の増設も公表されており、循環資源取扱貨物量（金属くず）の更なる増加が見込まれています。また製鉄プロセスにおいて発生する副産物（鉄鋼スラグ）についても再資源化が進められており、当該港は静脈物流ネットワークの拠点として役割を果たしています。
- ☆ 姫路港広畑地区は、-14m岸壁1バース、-7.5m岸壁1バース、ガントリークレーンを供用しています。更に-14m岸壁1バース、広畑地区と網干沖地区を繋ぐ臨港道路の整備に着手しています。これら港湾施設は、播磨臨海地域を東西に繋ぐ国道250号からのアクセスに優れており、姫路港は物流拠点として高い利便性を有しています。こうした立地や港湾施設を活かすことで、港湾を中心とした静脈物流ネットワークの構築が可能となり、再利用・再資源化等の促進が期待されます。その結果、地域における循環型社会の形成に寄与するとともに、サーキュラーエコノミーの推進を図って参ります。

3. その他

